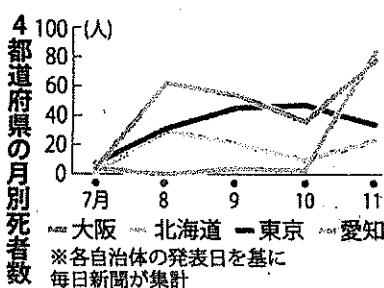
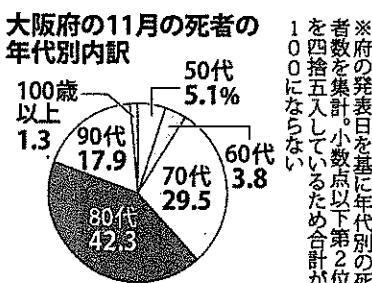


12/2 毎日

大阪・北海道死者最多に

11月 高齢施設 感染多発

新型コロナ



新型コロナウイルスの感染が全国で急拡大する中、大阪府と北海道で11月に確認された死者数は過去最多を更新した。大阪は78人に上り、60代以上が約95%を占めた。10月以来の「第3波」では重症化リスクが高い高齢者らの間で感染が拡大していることや、高齢者施設でのクラスター（感染者集団）の多発が要因とされ、専門家は「高齢者への感染を食い止める対策の強化が必要だ」と強い危機感を示している。

(27面)関連記事

80代が33人など最も多く、70代（23人）と90代（14人）が続き、60代以上は全体の94・8%だった。50歳未満の死亡例はなかった。全体のうち51人に基礎疾患が確認された。

府内の第3波の感染傾向は今夏の第2波と比べ、高齢者の割合が高いのが特徴だ。府の分析によると、10月18日から11月29日までに60代以上が占める割合は27・5%だった。第2波のピークとされる7月26日から2週間は13・3%で倍増している。

府感染症対策課の担当者は「市中感染が広がり、職員のPCR検査（遺伝子検査）などの実施を要請することを決めた。

府の専門家会議で座長を務める朝野和典・大阪大教授（感染制御学）は「PCR検査を積極的に実施し、クラスターを最小限に抑え込む行政の支援がさらに必要だ」と強調。「死亡リスクが高い高齢者に感染させず、医療現場の負担を少しでも軽減するためにも、マスク着用や手洗いなど基本的な感染予防策を一人一人に徹底してほしい」と呼びかけた。

一方、吉村洋文知事も「日、府内の死者数が過去最多を更新したことにつれ、『高齢者施設のクラスター』を何とか抑えていきたい。一人でも多くの高齢者を守るために、対策をさらに強化していく」と述べた。

大阪の11月の死者数は、全国で最多だった北海道の84人に次いで2番目だった。26日には「白当」たりで過去最多の12人の死亡を確

認。感染者数の急増に伴って死者数も増え続け、62人が亡くなった8月を超えた。

78人を年代別で見ると、

大阪 78人
北海道 84人

背景には高齢者施設や医

新型コロナウイルスによる死者は1日、北海道で新たに14人が確認されるなどして全国で計41人となり、過去最多になった。死者の累計は2206人。これまで1日あたりの死者は5月2日～11月27日に記録した31人が最も多かった。

【島田信幸】

「高齢者施設のクラスター」を何とか抑えていきたい。一人でも多くの高齢者を守るために、対策をさらに強化していく」と述べた。

【石川聰】